

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 東住吉区  
学校名 大阪市立南百済小学校  
学校長名 二俣 峰雄

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・南百済小学校では、第6学年 71名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率について、国語は全国平均を1.8ポイント下回ったが、学習指導要領の内容別にみると、言葉の特徴や使い方に関する事項・我が国の言語文化に関する事項では全国平均を上回った。算数は全国平均を3ポイント下回ったが、学習指導要領の領域別にみると、数と計算領域では全国平均を上回った。理科は全国平均を3.1ポイント下回ったが、学習指導要領の区分・領域別にみると、A「粒子」を柱とする領域では大阪市平均を0.3ポイント上回った。平均無解答率については、国語は全国平均を1.1ポイント、算数は全国平均を1.5ポイント、理科は全国平均を0.1ポイント下回った。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 「読むこと」の領域では、目的に応じて文章の内容を押さえ自分の考えを明確にしながら読むことに課題が見られる。個別最適な学びの指導の工夫により、漢字の読み書きや言語事項の基礎的・基本的な知識・理解についての学習内容定着に成果が見られた。しかし、長い文章を読み取ったり内容を比較して考えたりして、自分なりの考えを書くことに課題がある。

〔算数〕 「図形」の領域の基礎的な技能や知識に関して、一斉指導では理解しにくい児童に対して、学力向上支援チーム事業による指導方法の助言を生かし個に応じた学習や反復練習により学習内容を習得している。「データの活用」の領域では、示された式の意味を理解したり、問題解決に必要な情報を読み取ったりして数学的に考える力に課題がある。

〔理科〕 「エネルギー」を柱とする領域では、電気や電流に関わる問題に課題がみられたので、実験・観察を学びに生かせる指導法の工夫が必要である。平均無解答率については、国語、算数、理科すべての教科において全国平均を下回り、最後まで粘り強くチャレンジする姿勢が見られた。

質問調査より

児童質問紙から、「自分にはよいところがありますか」の項目が全国と比較して最も肯定的回答が高かった。本校では、自尊感情の育成の取り組みの実施により、さまざまな人との出会いの場を設定し、直接触れ合う多様な体験学習を1年生から取り入れているのが効果的であることがわかる。また、タブレット端末等のICT機器の効果的な活用やペア・グループでの話し合い活動の場の設定など主体的・対話的で深い学びの取り入れにより、自分たちで考える学習活動を推進している。

## 今後の取組(アクションプラン)

国語では、意欲的に学習に取り組めるような指導内容や指導方法の工夫・改善に引き続き取り組む。言語力や表現力を育成するために、自分の考えや思いを根拠をもって書いたり、説明したりする機会や場を日々の授業の中で確保していく。算数では、主体的・対話的で深い学びにつながる算数的活動を多く取り入れた授業展開や数学的な考え方を高めあえるようペア・グループ等児童間での話し合い活動、自分のことばで説明や記述ができる授業の工夫を図る。また、タブレット端末などICT機器を活用した授業の工夫や展開を創造したり、個別最適な学びの工夫を行ったりして、基礎学力の定着を図るとともに既習事項を活用し問題を解決していく力を育成していく。

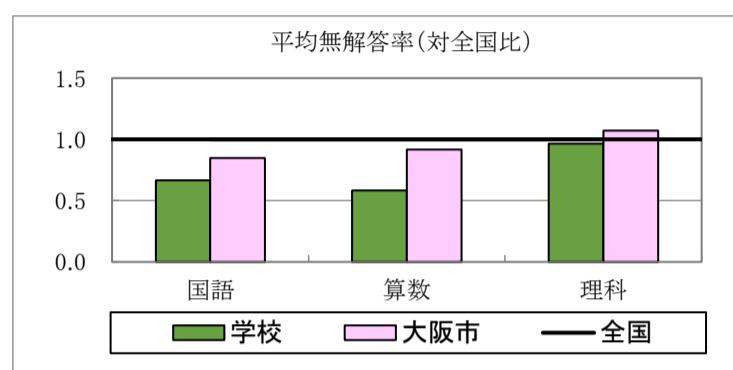
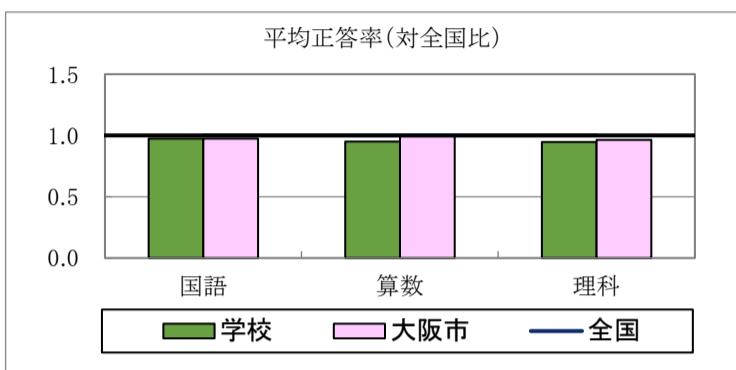
## 【 全体の概要 】

### 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	65	55	54
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

### 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.2	2.1	2.7
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



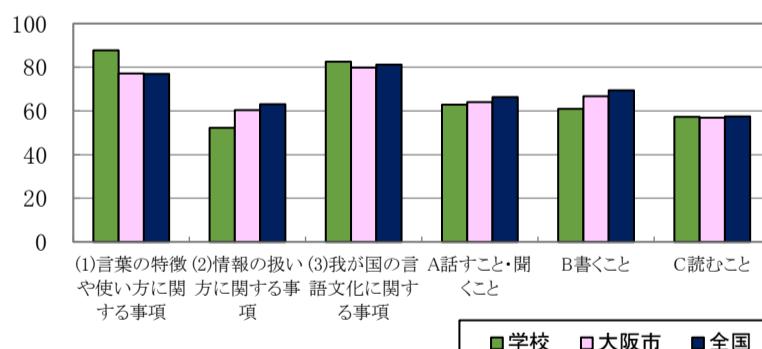
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	87.7	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	52.2	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	82.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	62.8	64.0	66.3
B 書くこと	3	60.9	66.7	69.5
C 読むこと	4	57.2	56.9	57.5

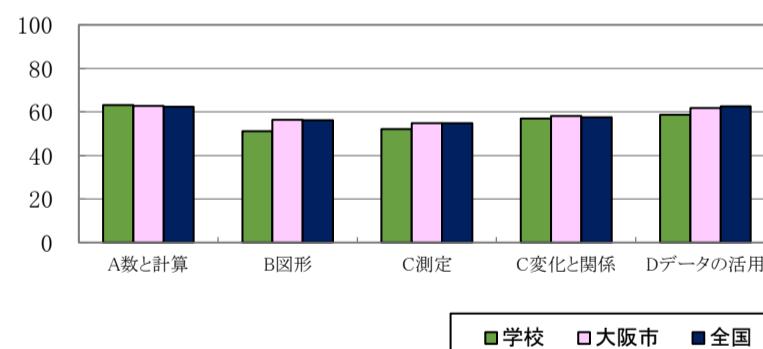
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	63.2	62.7	62.3
B 図形	4	51.1	56.4	56.2
C 測定	2	52.2	54.9	54.8
C 変化と関係	3	56.9	58.2	57.5
D データの活用	5	58.8	61.9	62.6

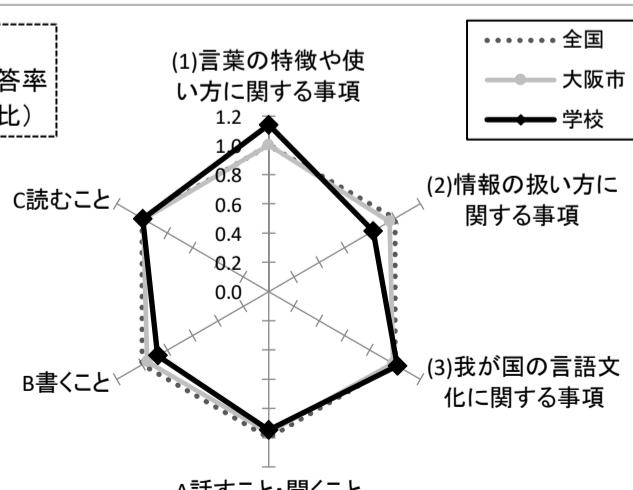
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



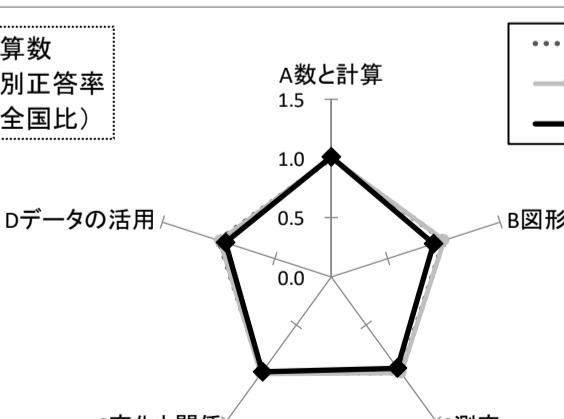
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率(対全国比)

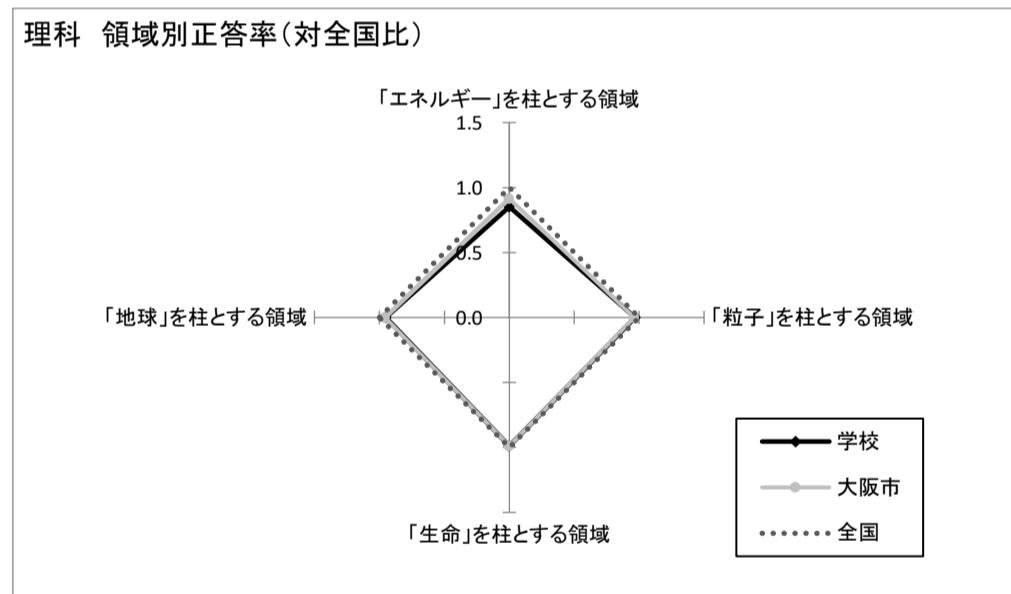
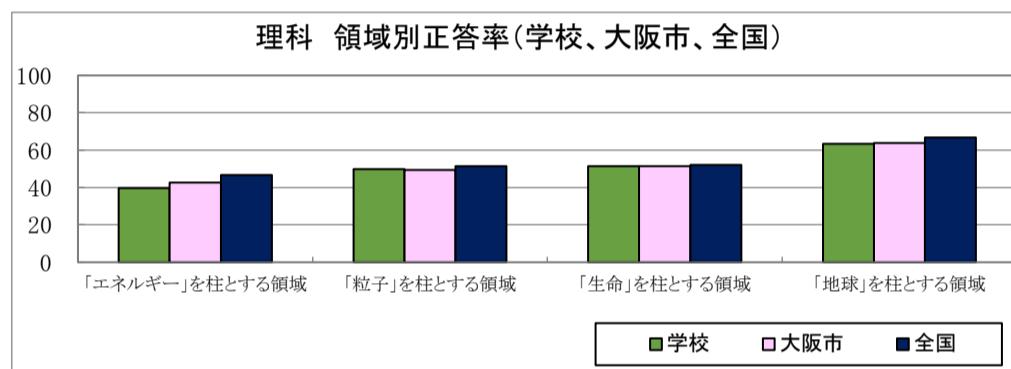


算数 領域別正答率(対全国比)



## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	39.8	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	49.8	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	51.4	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	63.4	63.8	66.7



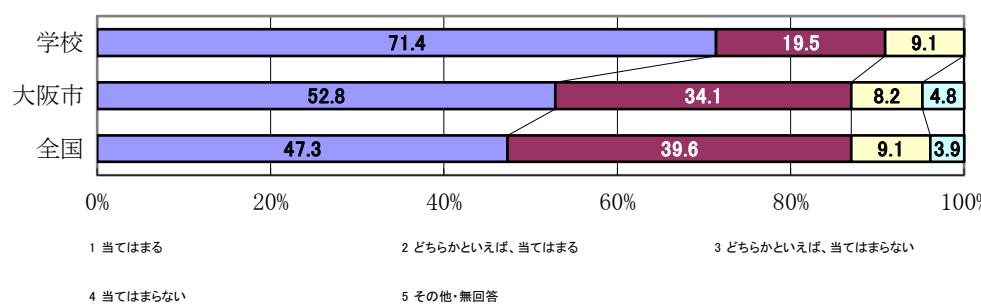
## 児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

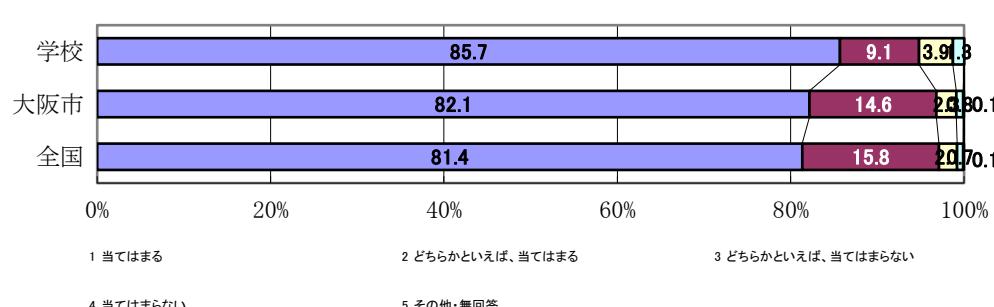
5

自分には、よいところがあると思いませんか



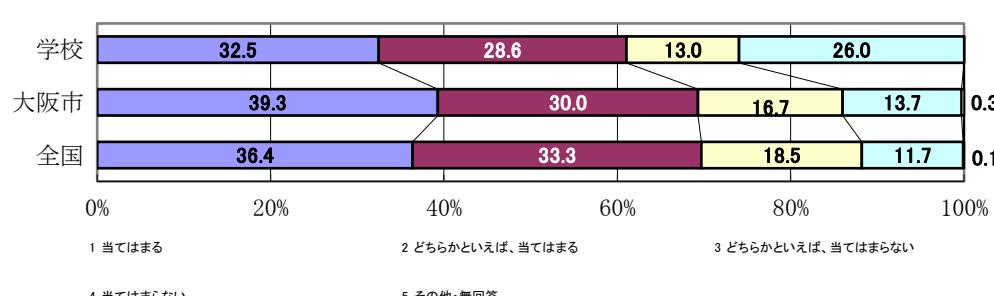
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



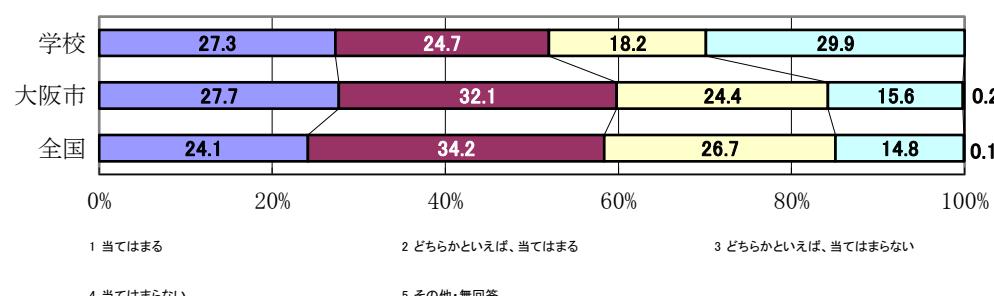
24

読書は好きですか



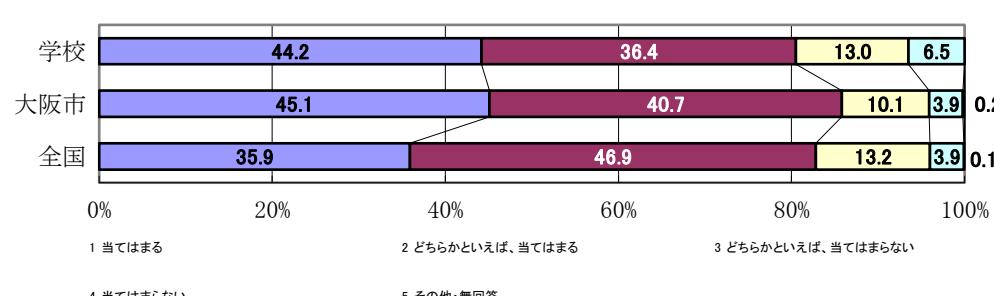
45

国語の勉強は好きですか



46

国語の授業の内容はよく分かれますか



## 学校質問より

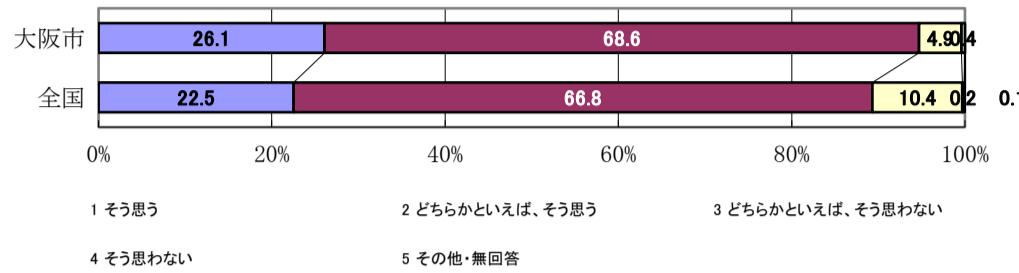
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号  
質問事項

25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

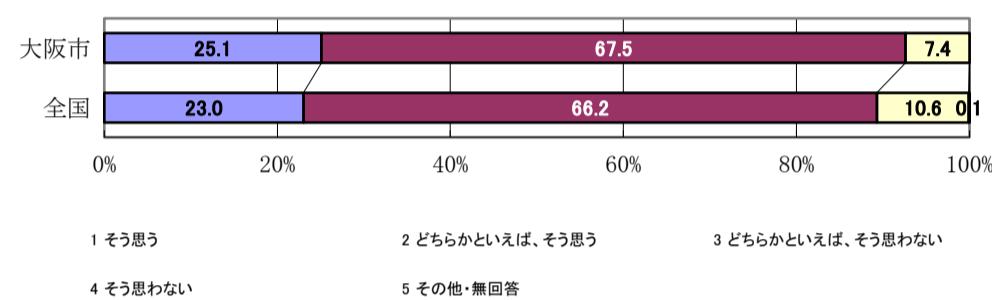
### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

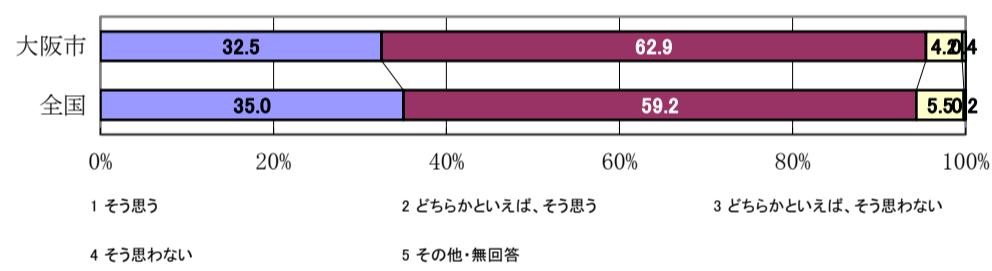
### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

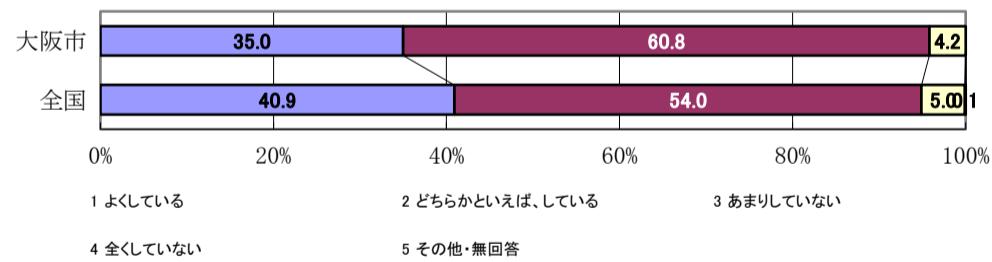
### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

### 学校 「どちらかといえば、している」を選択



41

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の授業で、学習状況に即して児童のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行いましたか

### 学校 「どちらかといえば、行った」を選択

